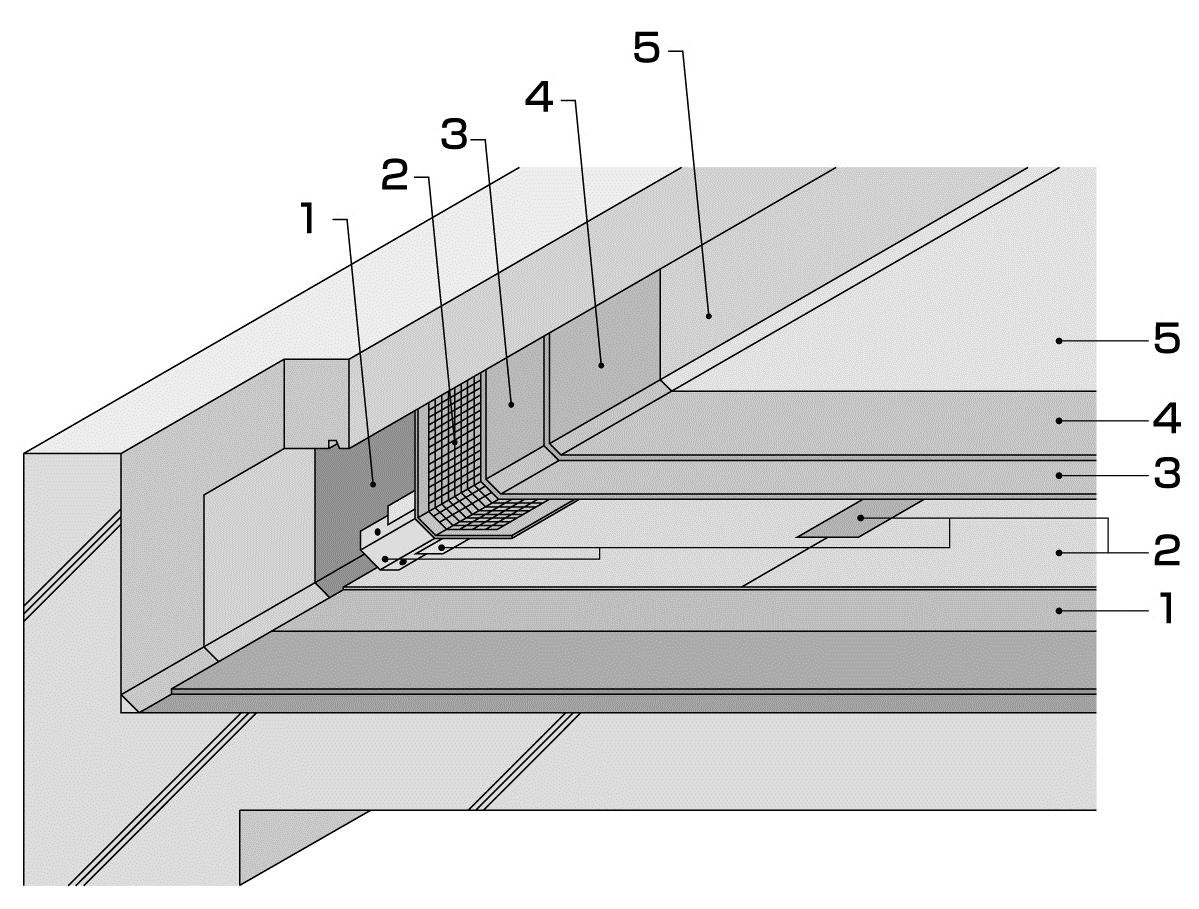
ＤＳＴ－３００Ｃゼロ工法

【施工要領書】

シーカ・ジャパン株式会社

**施工仕様**



平場：ＤＳＴ－３００Ｃゼロ工法（通気緩衝工法　平均厚３.０㎜）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | ダイナベース | ０.８～１.２㎏ |
| ２ | 自着シート | １.０m |
| ジョイントテープＴＭ | ※ |
| ランスロックキャントＮ＋ＦＪテープ | ※ |
| ３ | ＤＳカラー・ゼロ | ２.０㎏ |
| ４ | ＤＳカラー・ゼロ | １.９㎏ |
| ５ | ＤＳトップ・ゼロ | ０.２㎏ |

立上り：ＤＳＭ－２００ＬＭゼロ工法（密着工法　メッシュ入り　平均厚２.０㎜）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | ＤＳプライマー・エコ | ０.１５㎏～ |
| ２ | ＤＳカラー・ゼロ立上り用 | ０.４㎏ |
| ＬＳメッシュ | １.１m |
| ３ | ＤＳカラー・ゼロ立上り用 | １.３㎏ |
| ４ | ＤＳカラー・ゼロ立上り用 | １.３㎏ |
| ５ | ＤＳトップ・ゼロ | ０.２㎏ |

※　現場の状況により異なります。

**使用材料一覧**

| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| --- | --- | --- | --- |
| ダイナベース | １８㎏／缶 | １成分形 | １成分形アスファルト系接着剤（溶剤系） |
| ＤＳプライマー・エコ | １６㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン樹脂プライマー（弱溶剤系） |
| 自着シート | １m×１５m／巻  ｔ＝接着部　１.９㎜  ｔ＝非接着部１.１㎜ | － | 自着層付改質アスファルト系通気緩衝シート |
| ジョイントテープＴＭ | １００㎜×５０m／巻 | － | ＰＥＴフィルム付ガラスメッシュテープ |
| ランスロックキャントＮ | ２m／本  ｔ＝１.３㎜  ３０－４０－３０㎜・  ３０－１００－３０㎜ |  | アルミ製機械固定工法用周囲補強金物 |
| ランスロックキャントＮ  コーナー用 | ２枚／組  ｔ＝１.３㎜  ４０㎜・１００㎜ |  | アルミ製機械固定工法用周囲補強金物コーナー材 |
| ＴルーフプレートＡ型 | ２m／本  ｔ＝１.５㎜ |  | アルミ製フラットバー |
| ２６アルミサスアンカー  ４０  ７０ | 長さ２６㎜・４０㎜・７０㎜  １００本／箱 |  | アルミ・ステンレス製補強金物固定用アンカー |
| ＦＪテープ＃７０  ＃１００ | ７０㎜×２０m／巻  １００㎜×２０m／巻 |  | ポリエステル不織布付ブチルゴムテープ |
| ステンレスベントＮ | ２個／箱 | － | ステンレス製脱気筒 |
| ＤＳカラー・ゼロ | ２７㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝１：２ | ２成分形ウレタン防水材 |
| 主　剤　　９㎏／缶  硬化剤　１８㎏／缶 |
| ＤＳカラー・ゼロ  立上り用 | １８㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝１：２ | ２成分形ウレタン防水材立上り用 |
| 主　剤　　６㎏／缶  硬化剤　１２㎏／缶 |
| ＬＳメッシュ | １.０４m×１００m／巻 | － | ガラスメッシュ |
| ＤＳトップ・ゼロ | １５㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝２：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート（弱溶剤系） |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　９㎏／缶 |

**施工の流れ**

|  |  |
| --- | --- |
| 平場面：ＤＳＴ－３００Ｃゼロ工法 | 立上り面：ＤＳＭ－２００ＬＭゼロ工法 |
|  |  |
| 下地確認・下地清掃 | |
|  |  |
| 墨出し | |
|  |  |
| ダイナベース塗布 |  |
|  |  |
| 自着シート張り  シートジョイント処理 |  |
|  |  |
| ステンレスベントＮ取付け |  |
|  |  |
| ランスロックキャントＮ取付け  ＦＪテープ張付け |  |
|  |  |
|  | ＤＳプライマー・エコ塗布 |
|  |  |
|  | ＤＳカラー・ゼロ立上り用塗布  ＬＳメッシュ張り |
|  |  |
|  | ＤＳカラー・ゼロ立上り用塗布  （１層目） |
|  |  |
| ＤＳカラー・ゼロ塗布（１層目） |  |
|  |  |
|  | ＤＳカラー・ゼロ立上り用塗布  （２層目） |
|  |  |
| ＤＳカラー・ゼロ塗布（２層目） |  |
|  |  |
| ＤＳトップ・ゼロ塗布 | |

**施工要領**

**平場**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | 墨出し |
| 下地処理確認後、立上り入隅部より１００㎜離し、正確に行う。 |
| ２ | ダイナベース塗布 |
| 良く清掃し、ダイナベースをローラー等の工具で０.８～１.２㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ３ | 自着シート張り（平場） |
| 自着シートの離型紙を剥がしながら突付けで張る。  シートは、総てパラペット・役物等に突付けで張る。  １本目のシートは、予め墨出ししたラインに合わせ、出来るだけ正確に手転圧で張り込んでいき、２本目からは１本目のシートの端部に合わせ、長手シートジョイントは３～５ｍｍ程度離し、出来るだけ正確に手転圧にて張り込んでいく。  自着シートを張付け後、ハンドローラー等で全面を均一に転圧する。  自着シートのジョイント（長手・短手）処理は、ジョイントテープＴＭを張付け転圧する。 |
| ４ | ステンレスベントＮ取付け |
| ステンレスベントＮを所定の位置の床部に取付ける。  シートのくり抜きは素地が露出するまでとし、くり抜く大きさは１００ｍｍ角程度とする。 |
| ５ | ランスロックキャントＮ取付け |
| 自着シート端末部位は、シ－ト上から押え金物であるランスロックキャントＮを仮置きしアルミサスアンカ－にて固定する。  アルミサスアンカ－の打ち込み間隔はランスロックキャントＮの下穴部（３８０㎜間隔、端部からは５０㎜位置）に打ち込み、下地コンクリートに対しての打込み深さは２０㎜以上とる。  ランスロックキャントＮを切断し用いる場合も３８０㎜以内間隔、端部からは５０㎜以内の位置に穿孔しアンカーを必ず打ち込み固定する。  ランスロックキャントＮ同士のつなぎ目は、隙間を夏期１㎜・冬期２㎜開ける。 |
| ６ | ＦＪテープ張付け |
| ランスロックキャントＮ同士のつなぎ目、及びランスロックキャントＮ周囲の段差にＦＪテープを張付ける。このときランスロックキャントＮに打ち込んだアルミサスアンカ－の頭部が、隠れるようにＦＪテープを張付け、よく下地になじませる。  翌日以降に次工程の作業を行う場合は、ジョイントテープＴＭ、ＦＪテープ上にウレタン立上り用０.４㎏／㎡を段差が出ないように塗布し雨仕舞を行う。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ７ | ＤＳカラー・ゼロ塗布（１層目） |
| 主剤・硬化剤からなるＤＳカラー・ゼロを規定の配合で混合攪拌し、コテ等の工具を用いて２.０㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ８ | ＤＳカラー・ゼロ塗布（２層目） |
| 主剤・硬化剤からなるＤＳカラー・ゼロを規定の配合で混合攪拌し、コテ等の工具を用いて１.９㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ９ | ＤＳトップ・ゼロ塗布 |
| 主剤・硬化剤からなるＤＳトップ・ゼロを規定の配合で混合攪拌し、ローラー・刷毛等の工具で０.２㎏／㎡を均一にムラ無く塗布する。 |
| １０ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

**立上り**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | ＤＳプライマー・エコ塗布 |
| 下地処理確認後、良く清掃し、ＤＳプライマー・エコをローラー等の工具で０.１５㎏～／㎡を均一に塗布する。 |
| ２ | ＬＳメッシュ張り |
| 立上り・各基礎等を、補強布の下塗りとして、主剤・硬化剤からなるＤＳカラー・ゼロ立上り用を規定の配合で混合攪拌し、コテ・ゴムベラ等の工具を用いて０.４㎏／㎡を均一に塗布する。その後、補強布ＬＳメッシュを重ね幅５０㎜以上ラップさせて張付ける。  自着シートとのラップ幅は１００㎜以上重ねる。 |
| ３ | ＤＳカラー・ゼロ立上り用塗布（１層目） |
| 主剤・硬化剤からなるＤＳカラー・ゼロ立上り用を規定の配合で混合攪拌し、コテ・ゴムベラ等の工具を用いて１．３㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ４ | ＤＳカラー・ゼロ立上り用塗布（２層目） |
| 主剤・硬化剤からなるＤＳカラー・ゼロ立上り用を規定の配合で混合攪拌し、コテ・ゴムベラ等の工具を用いて１．３㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ５ | ＤＳトップ・ゼロ塗布 |
| 主剤・硬化剤からなるＤＳトップ・ゼロを規定の配合で混合攪拌し、ローラー・刷毛等の工具で０.２㎏／㎡を均一にムラ無く塗布する。 |
| ６ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

|  |
| --- |
| 免責事項  ここに記載された情報およびその他の助言は、シーカの推奨する通常の条件下で適切に保管、取扱および適用された場合の製品に関するシーカの現在の知識と経験に基づいて誠実に提供されるものです。本情報は、本書で明示的に言及されている用途および製品にのみ適用されます。基材の変更など、用途のパラメータが変更された場合、または別の用途に使用する場合は、シーカ製品を使用する前にシーカの技術サービスにご相談ください。本書に記載されている情報は、製品の使用者が意図された用途や目的に対して製品をテストすることを免除するものではありません。すべての注文は、当社の現行の販売および納品条件に従って受理されます。ユーザーは、常に該当する製品の最新版の製品データシート又は製品カタログを参照する必要があり、そのコピーはリクエストに応じて提供されます。 |